

# 密輸される コツメカワウソ

新聞発表 2019年11月26日

5班 武田 富田 保原



NRDC  
<https://www.nrdc.org/experts/paul-todd/world-wildlife-conference-will-decide-fate-otters>

# 目次

---

- 1) 新聞記事
- 2) 現状分析
- 3) 問題提起
- 4) 政策提言
- 5) まとめ

## カワウソ、「供給国」のタイ、SNSに密売網、つながり緩く操作難航。

絶滅危惧種コツメカワウソの国際取引が26日から原則禁止となる。日本では愛らしいしぐさで人気が沸騰した一方、密輸も相次いだ。タイは“供給国”の一つで、飼育したカワウソの売買も多いとされる。素性を知らない者同士がSNS(交流サイト)で密売ネットワークを築き、捜査を難しくしている。

「自分で箱に詰めて客に送った。間違いない?」。取り調べに男(27)は力なくうなずいた。

捜査当局は10月下旬、南部パッタラン県でコツメカワウソ計18匹を密売しようとした疑いで、この男ら2人を逮捕した。タイでも無許可の売買や所有は違法だが、ペットとしての需要は高い。

当局は男が営む衣料品店を捜索。段ボール箱に押し込められているのを見つけた。1匹の売値は3500バーツ(約1万2600円)。11匹が目も明かない子どもだった。

カワウソは数年前まで首都バンコクの市場でひそかに売られていた。日本では1匹100万円といわれるほど高騰し、密輸が相次いだため当局が監視を強化。今は「麻薬を売るより難しい」(市場関係者)状況で、SNSでの売買が主流だ。

今回はフェイスブック(FB)上のやりとりを端緒に、客を装って情報を収集し、逮捕にこぎ着けた。ただ国立公園・野生動物・植物保全局の係官は「全容解明には程遠い」とやや不満げだ。

男はSNSで直接面識がない「客」から依頼され、同様に面識がない「仕入れ先」に呼び掛けて調達した。大半をバンコクに運ぶ予定だった。そこから海外に転売されていた可能性もあるが、密売ネットワークのつながりは緩い。SNSは偽名で使われる場合が多く、捜査は壁にぶつかる。



カワウソはタイ南部に生息する。ナコンシタマラート県では、魚目当てに養魚池にやってくる。だが近隣住民のサンティさん(54)は「昔に比べ見掛けなくなった」。宅地化ですみかが奪われているからだという。

そのためか、野生でなく「飼育モノ」も出回る。保全局のプラキット副局長は「秘密の繁殖場があるはずだが、突き止められない」と話す。

「カワウソ飼い主の会」と称するグループがFBにあった。やりとりを重ねると「飼育モノ」を扱っていると認めた。隣国マレーシアで育て、2500バーツで売るという。

希少動物の違法売買の最高刑を禁錮4年から10年にするなど、タイ政府は対策強化に血道を上げる。このグループに不安はないか尋ねたが、気に留めていなかった。返信には「当局が知らない売買は山ほどある。密売は撲滅できない」と書かれていた。(ナコンシタマラート=共同)

【図・写真】タイの捜査当局が押収したコツメ カワウソ  
(10月、バンコク)=共同

2019/11/20 日本経済新聞 夕刊

# カワウソ「供給国」のタイ SNSに密売網



カワウソは数年前まで首都バンコクの市場でひそかに売られていた。日本では1匹100万円と

高い子どもだった。カワウソは約1万2600匹、11匹が目も明かない子どもだった。店を捜索。段ボール箱に押し込められているのを見つけた。1匹の売値は35000が(約1万260000円)。11匹が目も明かない子どもだった。

絶滅危惧種コツメカワウソの国際取引が26日から原則禁止となる。日本では愛らしいしぐさで人気が沸騰した。一方密輸も相次いだ。タイは供給国の一つで、飼育したカワウソの売買も多いとされる。素性を知らない者同士がSNS（交流サイト）で密売ネットワークを築き、捜査を難しくしている。

「自分で箱に詰めて客に送った。間違いない？」。取り調べに男(27)は力なくうなずいた。捜査当局は10月下旬、南部パッタロン県でコツメカワウソ計18匹を密売しようとした疑いで、この男ら2人を逮捕した。タイでも無許可の売買や所有は違法だが、ペットとしての需要は高い。当局は男が営む衣料品店を捜索。段ボール箱に押し込められているのを見つけた。1匹の売値は35000が(約1万260000円)。11匹が目も明かない子どもだった。

## つながり緩く捜査難航

タイの捜査当局が押収したコツメカワウソ  
(10月、バンコク) = 共同

いわれるほど高騰し、密輸は緩い。SNSは偽名で輸が相次いだため当局が監視を強化。今は「麻薬を売るより難しい」(市場関係者)状況で、SNSでの売買が主流だ。今回はフェイスブック(FB)上のやりとりを端緒に、客を装つて情報収集し、逮捕にこぎ着けた。ただ国立公園・野生動物・植物保全局の関係者は「全容解明には程遠い」とやや不満げだ。

男はSNSで直接面識がない「客」から依頼され、同様に面識がない「仕入れ先」に呼び掛けて調達した。大半をバンコクに運ぶ予定だった。そこから海外に転売されていた可能性もあるが、密売ネットワークのつながり

「カワウソ飼い主の会」と称するグループがFBにあった。やりとりを重ねると「飼育モノ」を扱っていると認めた。隣国マレーシアで育て、25000円で売ると言う。希少動物の違法売買の最高刑を禁錮4年から10年にするなど、タイ政府は対策強化に血道を上げる。このグループに不安はないか尋ねたが、気に留めていなかった。返信には「当局が知らない売買は山ほどある。密売は撲滅できない」と書かれていた。(ナコンシタマ

ラート=共同)

日本経済新聞

2019/11/20 夕刊

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO52381660Q9A121C1CR000/>

# 記事要約

---

- 絶滅危惧種コツメカワウソの国際取引が原則禁止となる
- 日本では人気があり、密輸も相次いだ
- タイはカワウソの”供給国”の1つで売買が多い
- 素性を知らない者同士がSNSで密売ネットワークを築き操作を難しくしている
- 操作当局はFacebook上のやりとりで、客を装って情報を収集し、計18匹を密売しようとした疑いで2人を逮捕した
- 希少動物の違法売買の最高刑を禁錮4年から10年にするなど、対策を強化している

# 背景 - コツメカワウソとは -

コツメカワウソ

体調: 40 - 65cm 体重: 3 - 6kg

生息地: インド／ネパール／ブータン／バングラデシュ／ミャンマー／中国  
etc.

河川・湖の周辺／沼地／湿地帯／水田周辺／沿岸部

特徴: 一夫一婦でつがいの結びつきが強い、子供は通常2匹

人になつく



## 背景 - 日本での人気 -

### \* メディア効果

TV 番組で取り上げられペットとしての人気が高まった。

### \* カワウソカフェ

池袋にあるコツメイトでは30分1,300円でコツメカワウソと触れ合える

コツメイト <https://ktm-kawaii.com>

人になつく、ペットとして飼える動物だという認識が高まった

この需要をターゲットとしたビジネスが広まる



Youtube  
チャンネル登録21万人



# 背景 - 密輸 -

日本人バイヤーがタイなどのカワウソ原産国に渡航して仕入れる

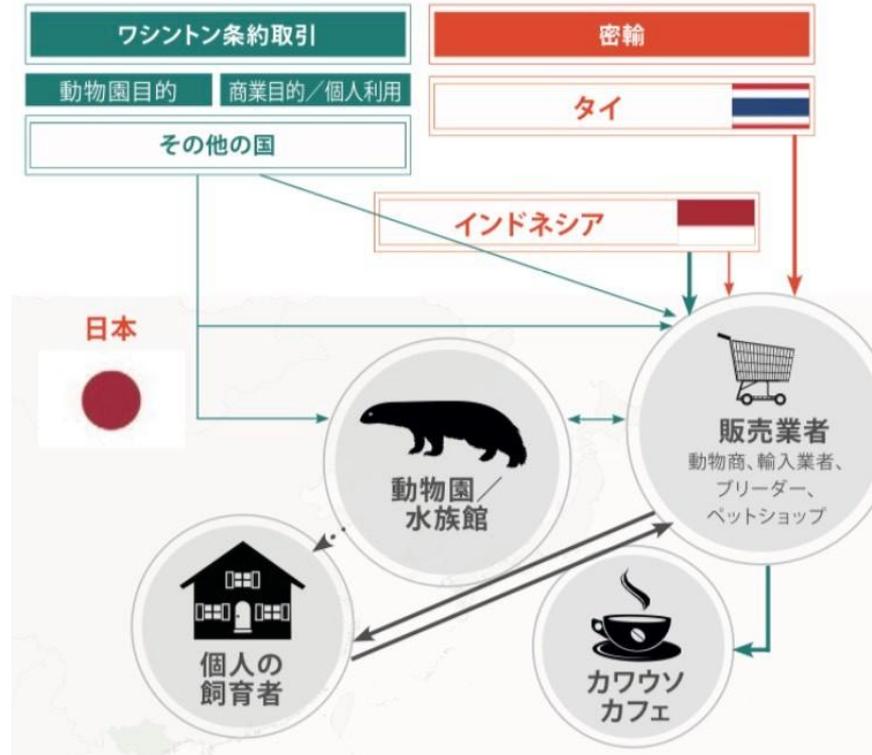
- FacebookなどのSNSを利用した匿名性の高い犯行
- やくざ?など組織的な犯罪グループの関与

タイでの仕入れ価格  
1~3万円

輸送費・運び屋への支払い  
分を考慮しても十分な利益

日本での販売価格  
90~150万円

# カワウソの入手経路



「日本に向けたカワウソの違法取引と高まる需要の緊急評価」北出智美  
成瀬唯  
[https://www.wwf.or.jp/activities/data/20181019\\_wildlife01.pdf?yclid=YJAD.1574673400.ly1Qvuedcq2fUMcWoBYbGkcAvQDdqWPcqqGWPwNPck3RkAUyGKILOypYcOcTMDONkoFTWN4cbsVOQ18-](https://www.wwf.or.jp/activities/data/20181019_wildlife01.pdf?yclid=YJAD.1574673400.ly1Qvuedcq2fUMcWoBYbGkcAvQDdqWPcqqGWPwNPck3RkAUyGKILOypYcOcTMDONkoFTWN4cbsVOQ18-)

# 背景 - 国際取引の禁止 -

国際自然保護連合(IUCN)

\* 減少している \*

要因

- 森林開発
- 人間による捕獲
- 汚染 etc.



絶滅のおそれが高い

IUCN REDLIST Asian Small-crawled Otter  
<https://www.iucnredlist.org/ja/species/44166/21939068#population>

2019/11/26からコツメカワウソの国際取引禁止

ワシントン条約締約国会議(COP18、ジュネーブ)

→絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に

関する条約

外務省 外交政策  
[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ge/page22\\_003296.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ge/page22_003296.html)

# 背景 - 国際取引の禁止 -

第18回締約国会議 (CoP18) がスイスのジュネーブで行われる

メインピック: 「**附属書**」の改正

附属書 I	商業目的の取引が原則禁止 例) ジャイアントパンダ、ウミガメ
附属書 II	商業目的の取引は可能 ただし、その取引が種によって有害でないことを輸出国が証明し、許可することが条件 例) サメ類
附属書 III	その動植物が生息する国が、保全のために国際的な協力を求めている種

→ カワウソは附属書 II から附属書 I へ

## 問題提起



コツメカワウソの国際取引の全面禁止は  
効果的なのか？

# 問題提起 - 分析 -

---

## 禁止前

- 商業目的の取引可能
- 仕入れ先:国内&国外

## 禁止後

- 商業目的の取引禁止  
(研究・動物園などのみ、  
ただし、申請必要)
- 仕入れ先:国内  
(国内で繁殖したものののみ)

# 問題提起 - メリット -

---

- これまで正規ルート・密輸のどちらから仕入れられたものか判断するのが難しかった  
→ 判断する必要がない(全面禁止) → 規制が容易になる
- カワウソが絶滅危惧種であるという知識が浸透する  
→ ペットとして購入したいと安易に思わなくなる
- 価格が高騰し、購入を断念する人が出てくる

## 問題提起 - デメリット -

---

- 国際取引が禁止されることで、国内における希少性が増し、  
価格が高騰 → 密輸の増加  
(高くても買おうとする人はいる)
- 国内で繁殖したものか、海外から来たものか判断が難しい

→ 密輸を減らすという観点では不十分！

# 政策提言 - カワウソ -

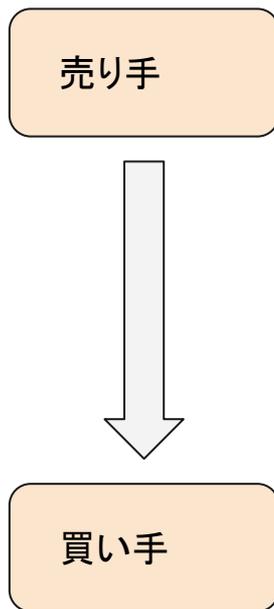
---

- 血統書登録の義務化 → 国内で保有されている個体数の徹底管理  
(国内で繁殖に成功した場合に証明書を獲得、証明のないカワウソ  
の保有・取引を禁止)
- 個人間の取引禁止、必ず認定機関(ペットショップなど)を介すること

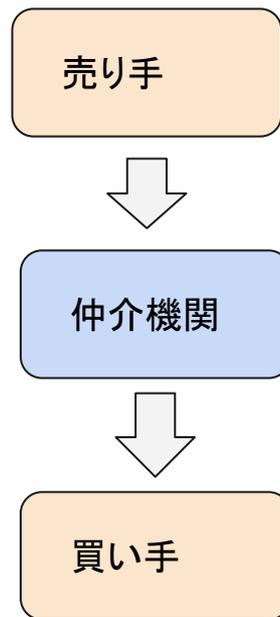
+ これらを守らなかった場合の罰則を強化

# 政策提言

個人間の取引禁止前



個人間の取引禁止後



# カワウソの価格高騰の原因

---

・現在の日本でのカワウソの価格高騰

→カワウソブームによるもの

→ペット化したいニーズ(メディアを通じた影響)

→個人が購入するために様々な方法をとる

→急増したニーズに応えるため、より安価で手に入れようとするものが現れる(密輸業者)

# カワウソ人気

---

## ペット化したいニーズの問題点

- 飼うための専門知識を有さない → 動物虐待
- 手間やコストがかかり手放したい
- 病気やケガに対応できる医療機関がない

## 規制の強化で改善

- カワウソ人気はYouTubeやSNS映えするという安易な考えにより急増
- 多くの人の目に触れるSNS等での露出は規制しやすい
- 罰則をおそれて飼うのを断念する

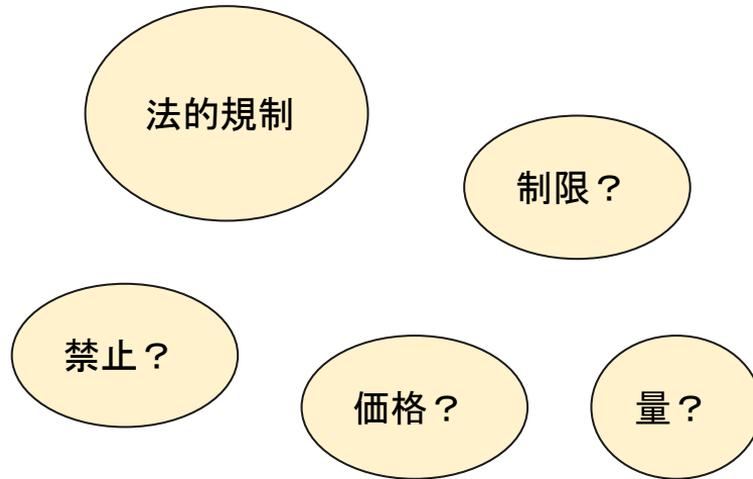
# 政策によって得られる効果

---

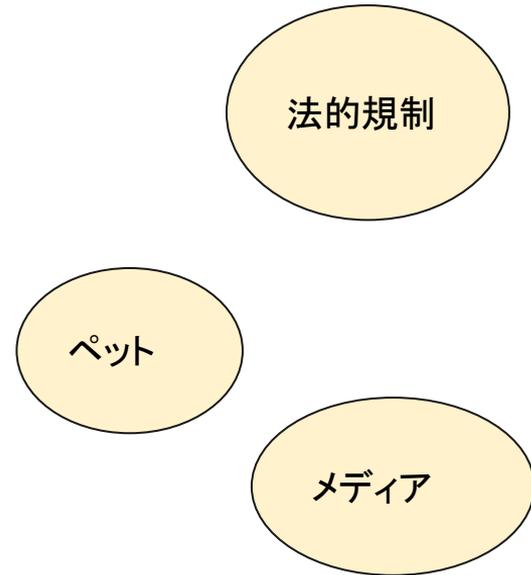
- ・ペット需要が減り、適正価格になる
- ・個人間の取引をなくすことによる国内のカワウソ管理の簡略化
  - 密輸業者も取り締まりやすくなる
  - 密輸を減らすことができる

# 密輸を減らすためには？

供給側



需要側



# まとめ

---

- コツメカワウソの数が減少している原因の1つに密輸増加がある  
特に日本ではペットとしての人気があり高値で取引される

## 「ワシントン条約：国際取引の禁止」

- 国際取引の禁止は入り口を塞ぐ政策ではあるけど、その入り口を突破されたあとの規制がなく、不十分である
- 登録の徹底、個人間取引の禁止に加えて罰則を強化することで安易な考えでカワウソを飼おうとする人が減る  
→ 需要の減少で価格下落 → 密輸の減少

# 参考文献

---

- ・日本経済新聞 2019/11/20 夕刊 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO52381660Q9A121C1CR0000/>
- ・Private Zoo Garden コツメカワウソ <https://pz-garden.stardust31.com/syokuniku-moku/itati-haiena-ka/kotime-kawauso.html>
- ・外務省 外交政策 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ge/page22\\_003296.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ge/page22_003296.html)
- ・NHKクローズアップ現代 <https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4238/index.html>
- ・「日本に向けたカワウソの違法取引と高まる需要への緊急評価」北出智美、成瀬唯  
[https://www.wwf.or.jp/activities/data/20181019\\_wildlife01.pdf?yclid=YJAD.1574673400.ly1Qvuedcq2fUMcWoBYbGkcAvQDqqWPcqqGWPwNPck3RkAUyGKIL0ypYcOcTMdONkoFTWN4cbsVOQ18-](https://www.wwf.or.jp/activities/data/20181019_wildlife01.pdf?yclid=YJAD.1574673400.ly1Qvuedcq2fUMcWoBYbGkcAvQDqqWPcqqGWPwNPck3RkAUyGKIL0ypYcOcTMdONkoFTWN4cbsVOQ18-)
- ・WWFジャパン  
[https://www.wwf.or.jp/activities/opinion/4168.html?yclid=YJAD.1574672007.gIDwXoSdcq0TP1okiuisLWLQqkDJdaHcp4\\_83iidvL4oFvhZBMyee4BRZ09gmg--](https://www.wwf.or.jp/activities/opinion/4168.html?yclid=YJAD.1574672007.gIDwXoSdcq0TP1okiuisLWLQqkDJdaHcp4_83iidvL4oFvhZBMyee4BRZ09gmg--)